

Hyper S-Stage **ボアアップキット(115cc)** 取扱説明書

商品番号: **0 1 - 0 5 - 5 0 8 6** 適応車種 フレーム番号 Ape 1 0 0 : HC07-1000001 ~ XR1 0 0 モタード: HD13-1000001 ~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

- ! 使用燃料についてのご注意 ! -

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

-! スパークプラグについてのご注意!-

スパークプラグは必ず、CR8HSA(NGK)または、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

このキットを取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このキットは、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。

取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行は出来るだけ避けて下さい。又、洗浄時などはキャブレターに水がかからないようビニールなどで覆って下さい。

当社エアフィルターを使用する場合、マットガード(09 09 1805)を同時装着して下さい。

ノーマルのスロットルケーブルは使用出来ませんので、必ず付属のスロットルケーブルに交換して下さい。

キャブレターは、使用部品や自然現象などによりセッティングは変化します。

さらなるパワーアップには、当社製マフラーをお勧めします。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。この製品を取り付けるには、別途、L.クランクケースカバーガスケット(ホンダ品番 11394-KN4-750)が必要です。別途お買い求め下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

´⚠**`注意**│下記事柄を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
- (法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
- (部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告 | 下記事柄を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。 (一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
- (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
- (そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

ネジについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

ネジを緩めるということは、締まっている状態から3~4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。 トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

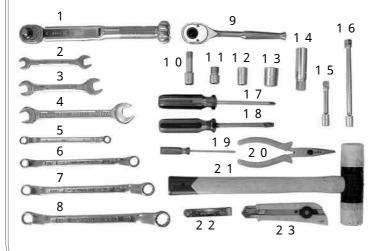
~商品内容~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数	番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン 57mm	1	13109 GPH T20	1	1 4	インシュレーター	1	00 03 0209	1
2	シリンダーCOMP.5 7mm	1	12100 KN4 T01 C	1	1 5	キャプレターガスケット	1	16210 GEF T01	1
3	ピストンリングセット 57mm	1	0 1 1 5 0 1 7	1 SET	1 6	スロットルケーブル	1	09 02 0081	1
4	ピストンピン 14mm	1	13111 KN4 T01	1	1 7	ナット 6mm	2	00 00 0128	1 0
5	ピストンピンサークリップ 14mm	2	0 0 0 1 0 0 5 2	6	1 8	ソケットキャップスクリュー 6×25	2	00 00 0089	1 0
6	カムシャフト X20E68	1	0 1 0 8 0 4 2	1	1 9	キャプレターASSY .	1	03 03 028	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1		1	2 0	コネクティングチューブ	1	03 01 1055	1
8	シリンダーガスケット	1		1	2 1	バンド	2	00 00 0050	1
9	エキゾーストパイプガスケット	1	0 1 1 3 0 2 2	1	2 2	メインジェット #105	1	00 03 0021	1
1 0	インレットパイプガスケット	1		1	2 3	メインジェット #110	1	00 03 0022	1
1 1	シーリングワッシャ	2		2	2 4	ドライブスプロケット 16T	1	02 05 051	1
1 2	オイルプラグボルト	2	90145 GEY T00	1	2 5	スパークプラグ	1	NGK CR8HSA	1
1 3	インレットパイプ	1	17111 KRL T00	1					

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

~取り付けに使用する工具等~



1	トルクレンチ	1 6	エクステンションバー 中
2	スパナレンチ 10-12mm	1 7	ドライバープラス 小
3	スパナレンチ 12-14mm	1 8	ドライバーマイナス 小
4	スパナレンチ 14-17mm	1 9	細軸ドライバーマイナス
5	オフセットレンチ 8-9mm	2 0	ニードルノーズプライヤ
6	オフセットレンチ 10-12mm	2 1	プラスティックハンマー
7	オフセットレンチ 12-14mm	2 2	シックネスゲージ
8	オフセットレンチ 14-17mm	2 3	カッターナイフまたはスクレーパー
9	ラチェットハンドル		針金等
1 0	ディープソケット 8mm		ウエス
1 1	ソケット 10mm		エンジンオイル
1 2	ソケット 12mm		メンテナンススタンド
1 3	ソケット 17mm		ジャッキ等
1 4	スパークプラグソケット 16mm		棒ヤスリ等
1 5	エクステンションパー 小		

-2- Sep./10/ 10

~取り付け要領~

フューエルコックをOFFにします。



サイドスタンドを取り外す必要がありますの で、レーシングスタンド等を用いて車両を確 実に支えて下さい。

作業は必ず冷間時 (エンジンおよびマフラー が冷えている時)に行って下さい。

各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り 除いてきれいにしながら取り外していくよう にして下さい。

取り外したボルトやナットは無くさないよう どの場所に使用するのかわかるように保 管して下さい。

チューブクリップをずらし、フューエルチュー プの接続を外します。





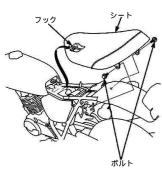
エンジンの取り外し シートとタンクの取り外し

X R 1 0 0 モタード

サービスマニュアルの指示に従いエンジンを フレームから取り外します。

2本のボルトを取り外します。シートを後方 に引いて外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm



ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引 いて取り外します。

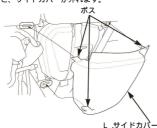


┃サイドカバーの取り外し

右サイドカバーのボルトを取り外します。 ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバー が外れます。



左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外す と、サイドカバーが外れます。



キャブレターの取り外し

キャブレターのトップキャップを外し、スロット ルバルブをキャブレターから抜き取ります。



コネクティングチューブバンドのスクリューを ゆるめます



ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマ ニホールドとキャブレターを取り外します。 使用工具 オフセットレンチ 8 - 9 mm



エキゾーストマフラーの取り 外し

シリンダーヘッド側のナット2個を取り外しま

使用工具 スパナレンチ 10-12mm



lApe

マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾー ストマフラーを取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm



スパークプラグの取り外し

プラグキャップを引っ張り、取り外します 必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



スパークプラグを取り外します。 使用工具 スパークプラグレンチ 16 mm ラチェットハンドル



接続を外す



ワイヤーバンドを外します。



ブリーザーホースの接続を外します。 (A p e の場合)



クラッチケーブルガイドのナットをゆるめ リフターレバーからクラッチケーブルの接続 を外します

使用工具 スパナレンチ 10-12mm スパナレンチ 12 - 14mm





ケーブルガイドからクラッチケーブルを外し



ドライブスプロケットの取り 外し

L .クランクケースカバーのボルト5本を 外し、L クランクケースカバーを取り外しま

使用丁旦 ディープソケット 8 mm ラチェットハンドル



ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、 スクレーパーやカッターナイフ等で取り除い て下さい。

スペーサーを取り外しておきます



Sep./10/ 10 - 3 -

ドライブスプロケットの2本のポルトを外し、 フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。

使用工具 ソケット 10mm エクステンションバー 小 ラチェットハンドル





L ステップの取り外し

サイドスタンドスイッチコードをフレームか ら取り外します。



ボルト 2 本を取り外し、L .ステップを取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 14 - 17 mm



エンジンの取り外し エンジン下部にジャキや適当な台等を置き



フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10-12mm ソケット 12mm ラチェットハンドル



リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm ソケット 12mm エクステンションパー 中 ラチェットハンドル



下側のナットを取り外します。 使用工具 オフセットレンチ 10-12mm ソケット 12mm エクステンションバー 小 ラチェットハンドル



まず、上側のボルトを抜き取り、カラー(Ape の場合)とクラッチケーブルガイドを取り外しま す。





- 4 -

下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの 左側から取り外します。フレーム等に傷をつけな いように注意して下さい。



シリンダーヘッド、シリン ダー、ピストンの取り外し

シリンダーヘッドの取り外し

シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm

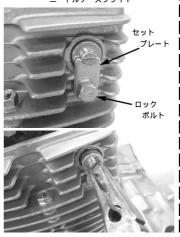




フライホイールを固定し、カムスプロケットの 6角ポルト2本をゆるめておきます。 使用工具 オフセットレンチ 10-12mm ソケット 17mm ラチェットハンドル



ロックボルトとセットブレートを取り外し、 アジャスターを取り外します。 使用工具 オフセットレンチ 10-12mm ニードルノーズブライヤ



カムスプロケットの6角ボルト2本を取り外 します。



カムスプロケットをカムシャフトから外し、 カムチェーンから外します。



カムチェーンをクランクケース内に落とさな いように針金等で吊っておきます。



シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm



カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けてゆるめてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm











- ヘッドを取り外します。



ノックピン2個は、再使用するので取り外し ておきます。

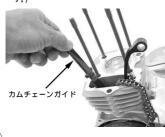


シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面 のガスケットカスをスクレーパーやカッター ナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

カムチェーンガイドを取り外し、シリンダを 抜き取ります。(かたい時はプラスチックハン マーでシリンダーを軽くたたき、取り外しま





ノックピン2個は、再使用するので取り外してお きます。



ロックナットとアジャストボルトをシリンダーか ら取り外します。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm ドライバーマイナス 小





スプリングを外し、カムチェーンテンショナーを シリンダーから取り外します。





クランクケースのシリンダーホールとカムチェー ンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを 詰め込みます。



ピストンの取り外し

ピストンピンサークリップの片側を取り外しま

ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるよ うにすると外れます。

使用工具 細軸ドライバーマイナス又は、 ニードルノーズプライヤ



サークリップを取り外した方へドライバー等でピ ストンピンを押して外します。



ピストンが外れます。

取り付け面をきれいにする

ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ 等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを 付けないように注意して下さい。

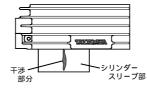


ウエスできれいに拭き取ります。



クランクケースの修正

シリンダーをクランクケースに取り付ける際、 左右クランクケースのズレ等により、シリンダー スリーブ部とクランクケーススリーブホール部が 干渉する場合があります。干渉した状態で使用す るとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因 となりますので必ず点検して下さい。

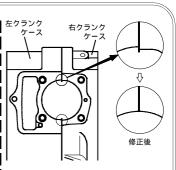


クランクケース内に削り粉が入らないようにしっ かりとウエスを詰めます。

左右クランクケースのズレの出っ張っている部分 を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さにしま

削り終わったら削り粉がクランクケース内に入ら ないように慎重にウエスを取り除きます。

- 5 -



きれいなウエスをスリーブホールに詰めてお きます。

キットを取り付けた後にエンジンをアイドリ ングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新 品に交換して下さい。

S-ステージキットの取り | 付け

ピストンの取り付け

ピストンピン穴の片側に付属のピストンピン サークリップを取り付けます。

ピストンピンサークリップの合い口は切り欠 | き部を避けて取り付けて下さい。

ドライバーで、ピストンにキズを付けないよ うに押し込むと比較的簡単に取り付けること が出来ます。

押し込み中にピストンピンサークリップが外 れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取 り付けて下さい。

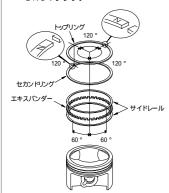
使用工具 細軸ドライバーマイナス又は、 ニードルノーズプライヤ



図を参考にしてピストンリングを取り付けま

ピストンリングの色

TOP:ゴールド 2 N D : ブラック



オイルリングエキスパンダーを入れます。



下オイルリングサイドレールを入れます。



上オイルリングサイドレールを入れます。



"N"の文字を上にして、セカンドリングを入れ 付属のピストンピンサークリップを取り付けま



"N"の文字を上にして、トップリングを入れま



ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを 塗布します。



ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピスト ンの上面の E X が、前 (排気側)を向くようにピ ストンを取り付けます。





ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部 を避けて取り付けて下さい。

ドライバーで、ピストンにキズを付けないように 押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ま

押し込み中にピストンピンサークリップが外れて 飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて 下さい。

使用工具 細軸ドライバーマイナス又は ニードルノーズプライヤ



シリンダーの取り付け

カムチェーンテンショナーをキットのシリン ダーに差し込み、スプリングのフックをシリン ダーに引っ掛けます。





カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付 け面と同じぐらいの位置にします。 アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め 付けます。

使用工具 ドライバーマイナス 小 オフセットレンチ 10-12mm





詰めていたウエスを取り外します。

-6-



クランクケースとシリンダーの合せ面をシン ナー等で脱脂します。





ノックピン 2 個とシリンダーガスケットを クランクケースに取り付けます。



シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、 指で均等に塗り広げます。



ピストンの全周面と、ピストンリングにエン ジンオイルを塗布します。



シリンダーを入れていきます。



シリンダーにピストンリングの合い口がずれ ないように指で少しずつはめていきます。



ピストンがシリンダーにはまったら、カム チェーンをシリンダーに通してシリンダーを クランクケースにはめ込みます。



カムチェーンガイドの先端をクランクケース の溝に、突起部をシリンダーの溝に合わすよ うにして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシ ンナー等で脱脂します。





ノックピン 2 個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



ロックボルトでセットプレートを仮止めします。



シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしてお きます



カムシャフトとカムスプロケッ トの取り付け

カムシャフトとカムシャフトホルダー及びロッ カーアームの確認作業を行います。

(キット内のカムシャフトは、ノーマルカムシャフトに比ベリフト量を増やしています。その為、カムシャフトホルダー及びロッカーアームの寸法誤差により、カムシャフトと干渉する物があります。必ず確認作業を行って下さい。)

カムシャフトホルダーに、キット内のカムシャフトを合わせ、カムシャフトのカム山と、カムシャフトのカム山と、カムシャフトホルダー及びロッカーアームが干渉していないか確認します。





干渉が無い場合は、そのまま取り付け作業を行い ます。

干渉がある場合は、カムシャフトホルダー及び ロッカーアームの干渉部分を削り、修正します。 以下 の作業を行って下さい。

カムシャフトホルダーからロッカーアームシャフトを抜き取りロッカーアームを取り外します。



干渉部分を削り、修正します。 使用工具

カムシャフトホルダー修正

: 棒ヤスリ / エアーリュ - ター又は電気リュ ターロッカーアーム修正

: エアーリュ - ター又は電気リュ ター / ダイヤモンドヤスリ

↑ 注意:必要外の部分は削ら無い事。

⚠ 注意:カムシャフトホルダージャーナル部、 ロッカーアーム取り付け部、シリンダー ヘッド取り付け面にキズ等を付けない様、 注意して作業を行う事。

⚠ 警告:リュ ターを使用する場合、キリコが目 に入らない様、必ず目を保護して作業を 行う事。





削り修正後、バリやカエリが無いかを確認し、洗 浄します。

ロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布 し、カムシャフトホルダーにロッカーアームを取 り付けます。





カムシャフトホルダーにカムシャフトを合わ せカム山との干渉がないか再度確認します。



キットのカムシャフトのジャーナル面とカム 面にエンジンオイルを塗布し、シリンダー ヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム 山は下側に向けておきます。



ノックピン2個を取り付けます。



カムシャフトホルダーを取り付けます。



ワッシャ4個を取り付けます。



ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。

使用工具 ソケット 12mm トルクレンチ

規定トルク 20N・m (2.0kgf・m)



仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボ ルトを本締めします。

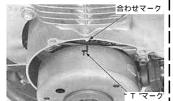
使用工具 ソケット 10mm エクステンションバー 小 トルクレンチ

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



Sep./10/ 10

フライホイールの" T "マークがクランクケー "マークに合っているか確認します。 スの'



カムスプロケットの"O"マークが真上を向く ようにカムチェーンを取り付けます。カムスプ ロケットをカムシャフトにはめ込みます。



フライホイールを少し回して、カムスプロ ケットを回し、6角ボルトを取り付けやすく します。

カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに 合わせて6角ボルト2本を手で締め込み、仮り 止めします。このとき、ノックボルト(黒色ボ ルト)をインテーク側に取り付けて下さい。





フライホイールを固定し、カムスプロケット の6角ボルト2本を締め付けます。

使用工具 ソケット 10mm トルクレンチ オフセットレンチ 14-17mm 規定トルク 12N·m (1.2kgf·m)



カムチェーンの調整

カムチェーンは張りすぎてもたるみがあって もエンジンの調子を損ないます。確実に作業 を行って下さい。

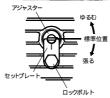
フライホイールを反時計方向にまわし、カム シャフトの両方のカム山が上になる位置にし ます。



フライホイールを手で少し動かし、カムスプロ ケットとのガタをみながら、アジャスターの"o マークを張る方向やゆるむ方向にまわしてみま

使用工具 ドライバーマイナス 小





ガタが無く、フライホイールが重くならないとこ ろでロックボルトを締め込み、アジャスターを固 定します。

使用工具 ソケット 10 mm トルクレンチ

規定トルク 10N・m (1.0kgf・m)



アジャスターの調整だけではガタが無くならない 場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を 行います。

アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、 シリンダーのロックナットをゆるめ、アジャスト ボルトを少しだけゆるめます。





マイナスドライバーでアジャストボルトを固定 し、ロックナットを締め付けます。

使用工具 ドライバーマイナス 小 ソケット 12mm トルクレンチ

規定トルク 12N・m(1.2kgf・m)

再びアジャスターをまわして、ガタが無く、フラ イホイールが重くならないところを探し、ロック ボルトでアジャスターを固定します。

- 8 -

バルブ隙間の調整

フライホイールを反時計方向にまわして、カムス プロケットの" 0 "マークが真上を向き、フライ プロケットの" 0 "マークが真上を向き、フライ X R 1 0 0 モタード マークに合う位置で止めます。

アジャストスクリューとバルブ端面の間(バルブ 隙間)に0.05mmのシックネスゲージを差し 込みます。

使用工具 シックネスゲージ



引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにアジャス トスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。 シックネスゲージ 使用工具

オフセットレンチ 8 - 9 mm ニードルノーズプライヤ ドライバーマイナス 小

規定トルク 10N・m (1.0kgf・m)



ナットを締め付け後、0.05mmのシックネス ゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認しま

シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジ ンオイルをいっぱいまで入れます。



シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリン ダーヘッドカバーボルト 2 本でシリンダーヘッド に取り付けます。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm 規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



エンジンの取り付け エンジンの取り付け

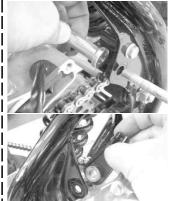
サービスマニュアルの指示に従いエンジンを フレームに取り付けます。

エンジン下部にジャキや適当な台等を置き エンジンを支え、車体の左側からエンジンを 取り付けます。

リアエンジンマウントの下側にボルトを左側 から差し込みます。



カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、 リアエンジンマウントの上側にボルトを左側 から差し込みます。



ナット2個を仮止めします。



フロントエンジンハンガーを取り付け、ボル ト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮 止めします。



ドライブスプロケットを付属品と交換します。 ドライブチェーンを取り付けたドライブスプ ロケットを、カウンターシャフトに差し込み ます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く 揺すりながら差し込んで下さい。



ドライブチェーンに適度なたるみを持たせた まま、仮り止めしたリアエンジンマウントの ナット2個と、フロントエンジンハンガーブ レートのナット4個を本締めします。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm ソケット 12mm

> エクステンションバー 小 エクステンションバー 中 ラチェットハンドル

規定トルク

リアエンジンマウントナット

: 4 4 N・m (4 .5 k g f・m) フロントエンジンハンガーブレートナット : 2 6 N・m (2 .7 k g f・m)

フィキシングブレートをカウンターシャフト に差し、ドライブスブロケットのボルト穴に 合わせて、ボルト2本を取り付けます。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm 規定トルク 10N・m (1.0kgf・m)



L .クランクケースカバーの 取り付け

L クランクケースカバーとクランクケースの 取り付け面をシンナー等で脱脂します。 スペーサーを取り付け、L .クランクケースカ バーと新品のガスケットをポルト5本でクラ ンクケースに取り付けます。

使用工具 ディープソケット 8 mm ラチェットハンドル

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)





L ステップの取り付け (Apeの場合)

L ステップをポルト 2本でフレームに取り付けます。

使用工具 オフセットレンチ 14-17mm 規定トルク 26N・m(2.7kgf・m)



サイドスタンドスイッチコードをフレームのクラ ンプに取り付けます。



接続配線の接続を行います。



ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します



ブリーザーホースを接続します。 (Apeの場合)



リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、 クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締 め付けます。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm オフセットレンチ 12-14mm





スパークプラグの取り付け

付属のスパークプラグを交換します。スパークプ ラグを、まず手で締め込みます。

プラグレンチを用いて締め付けます。 使用工具 スパークプラグレンチ 16mm ラチェットハンドル

規定トルク 14N・m(1.4kgf・m)



プラグキャップを取り付けます。



エキゾーストマフラーの取り付 け

X R 1 0 0 モタード

サービスマニュアルの指示に従いエンジンを フレームに取り付けます。

シリンダーヘッド側のナット 2 個を仮止めします。

使用工具 スパナレンチ 10-12mm



Аре

マウントボルトとワッシャを仮止めします。 使用工具 オフセットレンチ 10-12mm オフセットレンチ 14-17mm



仮止めした2ヶ所を本締めします。

規定トルク ナット2個

: **12N・m (1.2kgf・m)** マウントボルト

: 20N·m(2.0kgf·m)

キャブレターの取り付け

ストレージタンクホースとキャブレターエ アベントチューブをエアクリーナケース側か ら外します。

ストレージタンクホースはブリーザーチュー ブジョイントごと外して下さい。

ストレージタンクチューブ



エアベントチューフ

コネクティングチューブパンドスクリューを ゆるめます。

ノーマルエアークリーナーケースを止めているケースマウントポルトを左側から 2 本、右側から 1 本を取り外します。

ノーマルエアクリーナーケースを使用する場合は取り外しません。





コネクティングチューブをキャブレターから 外し、エアクリーナケースを取り外します。 ノーマルエアクリーナーを使用する場合は エアクリーナーケースは取り外しません。

ノーマルエアクリーナーカバーを取り、中のエアフィルターを取り外します。 ノーマルエアクリーナーケースからコネクティングチューブを外します。 付属のコネクティングチューブに接着剤を塗布し、ノーマルと同様にエアクリーナーケースに取り付けます。



スロットルハウジングのパンスクリューを 外します。スロットルパイプ、スロットルハウ ジングからスロットルケーブルを外します。 ノーマルのスロットルケーブルを車両から抜 き取ります。スロットルパイプの汚れや古い グリス等を拭き取り、躍動面に新しいグリス を塗布します。スロットルパイプをハンドル に取り付けます。

-9- Sep./10/ 10

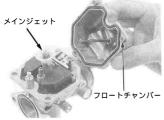
付属のスロットルケーブルをロアスロットル ハウジング及び、スロットルパイプに取り付 けます。アッパースロットルハウジングを取 り付け、パンスクリューで締め付けます。前側 のパンスクリューから先に締め付け、次に後 側を締め付けます。スロットルケーブルを ノーマルと同じになる様に取り回します。

規定トルク **4 N・m (0.4 k g f・m)** ノーマルハンドルの場合、スロットルハウジ ングの分割部をハンドルのポンチマークに合 わせて下さい。





PD22キャブレターのフロートチャンバー を外し、メインジェットを付属のメイン ジェットに取り替えます。(S-STAGEは # 1 1 0 、S T Dエンジンは# 1 0 5 を目安 にして下さい。)



フロートチャンバーを元通りに取り付けます。 シリンダーヘッドとインレットパイプの間に インレットパイプガスケット(厚みが薄い方) を入れてインレットパイプをSTDフランジ ボルト2本で締め付けます。

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



キャプレターとインシュレーターCOMP の間にキャブレターガスケット (厚みが厚い 方)を挟み、ソケットキャップスクリュー(6 × 2 5) 2 本とナット(6 mm)で締め付けま

規定トルク 12N・m (1.2kgf・m)



PD22キャブレターのトップカバーを外して、 スプリング、スロットルバルブを抜き取ります。 スロットルケーブルにトップカバーを取り付け、 スプリングを入れてスロットルバルブをインナー ケーブルに取り付けます。

スロットルバルブの切り欠き部をスロットルス トップスクリューに合わせてキャブレターに取り 付けます。





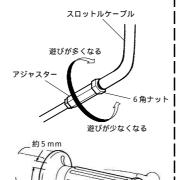
フューエルチューブをキャブレターに差し込み、 チューブクリップを取り付けます。



インシュレーターCOMP .をインレットパイプ に差し込み、バンドで締め付けます。



スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来 るようにスロットルケーブルのアジャスターを調 整します。スロットルを数回スナップさせ引っか かりやスロットルバルブの全開状態を確認しま す。又、ハンドルを左右にきってもスロットル ケーブルの引っ掛かりが無いかを確認します。



エアクリーナーコネクティングチューブをキャブ レターに取り付けます。エアクリーナーコネク ティングチューブバンドを締め付けます。



ノーマルエアクリーナーを元通りに取り付け、 エアクリーナーカバーを付けます。



コネクティングチューブにストレージタンクホー スを取り付け、チューブクリップを取り付けま

エアベントチュープは走行に支障の無いように まとめて下さい。

左右サイドカバー、シートを取り付けます。 ノーマルエアクリーナー使用の場合は、吸入空気 量を確保する為にシートを取り付ける前にエアク リーナーケース上部のインテークダクトを必ず取 り外して下さい。



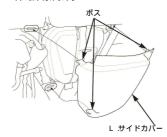


サイドカバーの取り付け

XR100モタード

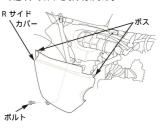
サービスマニュアルの指示に従いキャブレターを 取り付けます。

左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームに差し込 み、取り付けます。



-10-

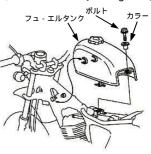
右サイドカバーのボス2ヶ所をフレームに差 し込み、ボルトを取り付けます。



シートとタンクの取り付け (Apeの場合)

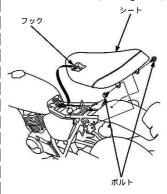
フューエルタンクをフレームに取り付け、 ボルトを締め付けます。

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm 規定トルク 26N・m(2.7kgf・m)



- ト裏面の前部のフックをフレームに差し 込み、2本のボルトでフレームに取り付けま

使用工具 オフセットレンチ 10-12mm 規定トルク 26N・m (2.7kgf・m)



フューエルホースの接続

フューエルコックにフューエルチュープを接 続し、チューブクリップで固定します。



エンジン始動

イグニッションキー、ガスコックがOFFになっているのを確認し、スパークプラグを取り外します。

しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に行きわたらせます。

スパークプラグを取り付け、ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、チョークレバーを引いてエンジンを始動させます。

チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

⚠ 注意:必ず規定トルクを守る事⚠ 警告:必ず換気のよい場所で行う事

異音など異常が無いか確認します。

異常が無ければ100km~150km位までは慣らし運転を行います。

慣らし運転終了後、異音やブローバイなど異常が無いかを確認します。

(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

⚠警告:ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

/!\注意

エンジン組み付け時、規定トルクで締め付けているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んで くる場合がありますので、定期的に各ボルト、ナット類を増し締めして下さい。

⚠注意:必ず規定トルクを守る事

走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケット

スプロケットは、用途に合わせて調整して下さい。ただし、あまりローギヤすぎる設定は、各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジン破損してしまう恐れがあります。適切な設定でご使用下さい。

その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット の装着をお勧めします。

-11-

カムチェーン

出力アップ、エンジン発熱量の増大に伴い、当社製ソリッドカムチェーン、ダイハード (01-14-005)の使用をお勧めします。

温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。

当社製の下記メーターが使用出来ます。

・ミディアムLCDタコメーター&温度計:09-05-0141(150 *表示)

・デジタル温度計 : 07-04-053 (99 [°]表示)

株式会社 SPECIAL PARTS 光 儿

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL http://www.takegawa.co.jp